学校番号	４０７

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	トータル・データ　家庭科ガイドブック　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題を実習・演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。他の人の考えや意見を知って、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基いた技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて、生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 授業プリントの記述 実習記録プリント レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 製作計画 実習記録プリント レポート、発表 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 製作品 実習記録プリント レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 製作計画 実習記録プリント レポート、発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ・高校生と衣生活 ・被服の役割 ・被服の保健衛生的機能 ・被服の社会的機能 ＊カラーコーディネイト ○被服を入手する ・被服と表示 ・被服の材料 ＊三原組織とその応用 ・被服材料の性能 ○被服を管理する ・被服の手入れ ・洗濯・保管 ○被服を作る ・被服の構成 ・採寸 ・被服製作の工程 ・被服製作の基本 ＊被服製作実習 エプロン 三角巾 ○これからの衣生活 ・資源としての衣服 ・衣生活と環境 ・全ての人が楽しめる衣生活	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:被服の機能、被服材料などに関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 健康で快適な衣生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:被服製作についての技術を身に付けている。 d: 被服の機能、被服材料、被服の構成などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 自己評価 相互評価 製作物 定期考査

2	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ・青年期の食生活の課題 ・食生活の課題 ○食事と栄養・食品 ・生涯の健康と食事 ・栄養と栄養素 ・炭水化物 ・脂質 ・たんぱく質 ・無機質・ビタミン ・その他の食品 ○食生活の安全と衛生 ・食品の衛生と安全 ・食品の衛生と保存 ○生涯の健康を見通した食事計画 ・栄養バランスのよい食事 ・食事計画 ○調理の基礎 ・調理法と味のバランス ・食事の場面を考えた調理 ＊調理実習 ○食生活の文化と知恵 ・日本の食文化 ・世界の食文化 ○これからの食生活 ・食の安全性の確保 ・持続可能な食生活を営む力	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見出しその解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に着けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実技 定期考査

3	住生活をつくる	○住生活について考える ・住居の機能と変化 ・平面図を理解する ・住居の計画 ＊住宅広告を読む ＊住宅図をデザインする ○住生活の計画と選択 ・安全で快適な住生活 ・住居の維持と管理 ○住生活の文化と知恵 ・さまざまな住様式	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。